

2007年口頭試問データ

日本気球連盟安全委員会

Date	Examiner	Question	Answer	Remark
1/1	山本	クイックリリース（インフレーションハーネス）はなぜ使うのですか？	インフレ時に予期しない強風が吹いた時に引きずられないため。	
		電線事故を起こしてしまった時に行なう対処法を2つ挙げて下さい。	・電力会社に連絡 ・人命救助 ・事故調に報告 ・周りに人を近づけないなど。	
1/14	菅井	<強風下のランディング>	乗員への留意点説明～より安全な着陸ポイントの選定～パイロットバーナー消火～リップの引き切りデフレーション	
		<係留フライト>	フリーフライトとは異なる危険性（ギャラリーの安全確保、係留ロープ、アンカー用車両） 多少風がある場合の球皮内での熱気の循環→止まった場合の急激な浮力	
1/15	市吉			風静かな時 インフレータ操作でクラウンなしでも立ち上がる
				キャンディー、チューインガム、ダ液をさそい有効 安全に良い
1/20	道塚	バーナーシステム		気球の構造を知っておいてもらいたい旨の試問を行なった。概要は説明できた。
		ガスボンベ		
1/20	江川	係留飛行に関する安全注意事項を6項目以上解答する様に求めた		係留飛行に関する安全注意事項を6項目以上解答する様に求めたが、的確な解答が得られなかった。係留飛行安全規定をどの程度把握しているか、質問してみた。模範解答を1、2項目あげると納得し、充分解っているが、口答出来ない。
		事故後の処置	各機関への連絡（救急、警察、消防、その他） 地主への連絡、折衝 事故報告書の作成 保険請求の方法	事故後の処置についても同様 頭の中で解っているのだろうが、口答に手間取る。
1/20	市吉	着火器はどこ	すぐ出せるところ	
		マニホールドのレイアウト	壁に出来るだけそうように	
1/21	菅井	強風下のランディング	乗員への安全確保の説明～より安全なランディングポイントの選定～パイロットバーナー消火、リップの引き切り	
		係留フライトの留意点	一般ギャラリーの安全確保（係留ロープ、アンカー用車両） 多少風がある場合、熱気が球皮内で対流しており、風が止まった場合に起きる急な浮力に注意	

1/27	坂井	佐賀エリアの通報システムについて聞いた。		常に決まりだから手順を覚えていると言うのではなく、空港建設にからむエリアの住み分け、相互契約的内容、責任を問い、エリアの大切さを理解していることを問うた。
		佐賀エリアでのクルージングの使用について聞いた。		問1と基本的には同じだが、最も身近な地元エリアを大切にすること、地域との共存を図る。住民の支持を受けるようP協会を中心に活動していることを新人に理解させる。
1/28	山下	ロードチャートについて		
		気象について		
2/3	山口	気球の保険について		保険 カバーする範囲等適切に回答できた。
		事故時の対応について		緊急連絡先、安全確認、地主対策、事故報告等適切に回答できた。
2/11	川副		GSLとは身体賠償と財物賠償の区別なく、共通の支払い限度額のことをいう。よってGSL2億とは1事故の最大は2億で対人に対しても最大2億、対物に対しても最大2億、しかし合せて4億の保証ではないので1事故最大2億の中での保障。	
			通報書の中には高度別空域、エリア別空域、自衛隊管制圏、佐賀空港情報圏のことが明記されていて、それぞれの空域への進入や飛行についての規制等も書いてあります。	
2/11	坂井	3点支持、4点支持の特性や、安全性、トップテザーの方法など、具体的に説明させる。		B.G. 佐賀のメンバーは、バルーンボランティアをその活動の柱の一つにしており、安全な係留について、周知しているか聞いた。
		佐賀特有の風や、地形風について聞いてみた。		地域の風を知ることで、フライトプランが楽につくれ、また安全なフライトにもつながる。
2/12	坂井	佐賀エリア、通報システムについて質問		能弁ではないが、必要最少の知識や制度については理解していた。
		ランディングポイントの選択について質問		風向や障害物等着陸地選定の基本について回答。佐賀では、12～2月の間はほとんど農地へのランディングしないことも理解。
2/12	山口	保険について		カバー範囲、条件等充分に回答できた
		係留について		係留規定に基づいて注意事項を説明できた
2/18	岡田	大崎エリアのPZの特徴を述べよ。	ラムサール条約の野鳥関係、ダチョウライン、和牛の点在等について答えればOK	
		NOTAMについて		
2/21	市吉	朝日夕日に向うフライトの注意点	電柱等見づらくなる事に注意	
		軽いサーマルの時どうするか	とりあえず上昇する	
2/22	市吉	中間着陸でスクープはなるべく風下側	球皮が安定します	

		球皮は極力よごさない引きずらない	球皮が痛む、よごれるから	
2/22	山口	保険について		規定、適用範囲など適切に回答できた。
		係留について		係留規定に内容を把握しており、安全確保など適切に回答することができた。
2/25	島村	高度計の設定についてQNHとQFE	QNH: 海拔高度に合わせる方法。 QFE: 離陸地をゼロ(0)でセットする方法。	
		「春一番」について説明せよ	日本海に低気圧が発達して進み、立春から春分までの間に初めて吹く南よりの強風(8m/s以上の風速)で、気温が上昇する現象。	
2/25	坂口	種火が消えた際の対処について知識と練習をしているか		
		地上風・中層の風向と風速を大まかに把握しているか		
2/27	坂口	佐賀エリアで最も必要な久保田PZ1(ゾーン)が上空から把握できているか? 現在地がわかっているか?		
		地上風・中層風の大まかな風向・風速がつかめているか?		
2/25	川副	強風下でのフライトランディングについて	着陸する頃にやや風が出てきたので強風下でのフライトについて説明してもらった。離陸時の説明は十分であったが、(風の速さ)着陸地のリップ操作(空中でのフルリップ)についての説明が不十分だった。	
		前日係留だったとのことだったので係留での注意点についての説明をもらった。		係留索の配置もより理解してあったが、スペースの広さについて十分な説明がなかった。風船上げておくと風の変化が良く分ることを説明した。
3/3	竹澤	マニホールドの使い方 1. マニホールドの内容 2. パルプの開閉		
		他の気球について 1. 全体をみているか 2. 他の気球の動きを見ているか 3. 視野に無い気球はどこにいるか。		
3/4	島村	高度計の設定について、QNHとQFEを説明せよ。	QNH: 海拔高度に合わせる方法。 QFE: 離陸地を0(ゼロ)でセットする方法。	
		AGLとMSLについて説明せよ。	AGL: Above Grand Level 対地高度 MSL: Meaning Sea Level 海拔高度	
3/4	道塚	フォールスリフトについて		適切に答えられた
		バーナーシステムについて		適切に答えられた
3/9	今村	保険についての質問		第三者賠償、動産、搭乗者障害、の3種類の区別、特徴、金額的な保障範囲を理解、認識する。バルーンフライトのリスクと保険の関係を認識する。

		ブリーフィングについての質問	NOTAM, 気象情報、機材、フライトの予定、離陸地、その他重要なことは、クルーの相互コミュニケーションと情報の共有、全員が情報共有と合意のもとにフライトする姿勢を持つ。	
3/16	山下	ロードチャートについて		
		地形風について		
3/17	菅井	強風下のランディング（トレーニング中も機会が無かった為出題）	より適切な着陸地の選定～乗員に対する安全確保の説明～パイロットバーナーの消火～リップの完全な引き切り	
		係留フライト（実施の機会が多い環境にある為出題）	係留ロープ、アンカー等、実施時のギャラリーに対する安全確保の説明、フリーフライトとは異なる浮力、及び風がある場合の慣性の認識	
4/7	山本	真北と磁北の違いについて簡単に説明して下さい。	地図の上が真北、コンパスの指しているのが磁北	狙い：磁北で方向を見ているのが、地図ではずれているのを確認してほしい
		パラシュート式の気球では、滑車を使ったリップラインと使わないタイプのもがあるが、操作する上でどんな違いがありますか？	直接引くタイプでは、滑車を使うものよりも力が必要。リップラインを引く長さは、滑車を使うタイプは長くなる。	狙い：異なる気球の構造に興味を持ってもらいたい。
4/15	橋本	強風時のランディング	高レベルからだとかげが多いので、低レベルからのアプローチで、すみやかにリップを引く。	
		飛行時のバーナー不能の場合	ポンペのロックで強弱する。	
4/15	小浜	「雲の種類と、その雲が現れる時の気象条件、気球への影響について述べよ。（3種以上）」		狙い：観天望気、現地での気象状況変化に気付くことの重要性について知ってもらいたい。積乱雲、積雲は最低でも分ってもらいたい。受験者は積乱雲がかみなり雲だということくらいしか答えられなかった。
		「係留を行う時に注意すべき項目を5つ以上あげよ」	・場所の広さ ・アンカーの種類、数、配置 ・風向、風速、気圧配置 ・乗客の安全 ・搭乗時の指示 ・いきなりあおられて持ち上げられないよう風の状況に注意 ・浮いているときは、下のクルーの立ち位置 ・ロープ付近に客がいないか、など。	
4/21	江川	事故発生時の対応について聞いた		事故状況によるが、関係機関への連絡、地主への挨拶、連盟への事故報告、保険会社への連絡等、Pilotとして行う事項の解答を求め、適格に答えられたと思う。
		係留飛行に関する安全注意事項、少なくとも7項目答えるよう質問した。		頭の中では、充分理解している様に思えるが、突然の質問に求めた解答と若干違ったが、アドバイスで理解しているのでOKとした。
4/29	山家	強風下での離陸時の注意事項は？	飛ぶ勇氣より飛ばない勇氣、インフレーションハーネスの落下に注意、障害物の確認等	
		寒冷地でのフライトで注意することは？	ガス圧の管理、窒素充填後のLPG充填に際し、窒素を抜いておく。	
5/3	菊池	秋田エリアのノータムの内容とノータムを出す理由	・ほぼ長方形のエリア ・北側 2500ft ・南側 10000ft ・高度の境界 ・他の航空機に対し、注意を促す情報として通報してもらう等	
		ロード計算について	外気温度・予定高度等の条件下での適正な離陸重量を知る為に使う等	

5/3	江川	係留フライト実施の安全事項		安全フライトに関する注意事項が求めた通りの解答であった。 係留飛行安全規定にもう一度目を通す様指示した。
				事故後の処置、事故の対応について質問し、ある程度解答は得られたものの、関係機関への緊急連絡等一番最初の対応についての解答しか得られなかった。話し合いの結果充分理解はできているものと思われる。
5/4	江川	係留フライト時の安全留意点		ほぼ満足に解答された
		事故後の処置	各関係機関への連絡、人身安全確保第一、第三者災害の場合の地主への連絡、日本気球連盟への事故報告、保険使用の場合の保険会社への連絡等 good	
6/3	市吉	いたずらに大きな競技用地図を持ち込まないで	ハイ	
		バーナーメンテ オーバーホールしましょう	ハイ	
6/16	市吉	クイックリリースはいつはずす？	浮力がついたら	
		高圧線越える時はダブルで焚ける状態で		
7/7	市吉	カラビナとカラビナの間に0リング使用して下さい。		
		パイロットハーネスは収納袋に入れて下さい。		
10/20	島村	高度計の設定の仕方について説明せよ。	QNH: 海拔高度に合わせる方法。 QFE: 離陸地をゼロでセットする方法。	
		着陸時の残燃料は？	安全規定上は、最後のシリンダーに20%以上であるが、一本は満タンで着陸するのが望ましい。	
11/24	市吉	シリンダーのレイアウトで 何故？		
		UTMと通常のコーディネートの違いは		
12/2	坂	記載なし		
		記載なし		
12/31	岡田	フライトエリア（瀬峯）の注意を要するPZ等を説明せよ。	本エリアには野鳥保護のラムサール指定地が多く、PZ指定されている。又、他地域にはあまり無いダチョウのPZが点在している。他、和牛等の家畜飼育が盛んな地域なので、注意を要する。	
		NOTAMの内容とPZの高度を問う。		ノータムの内容、高度等が正解であればOK。フライトエリアを理解している事を求める。